

MITA International School Syllabus 2018
三田国際学園高等学校 平成30年度 シラバス

Grade Level / Course 学年 / コース	高校 1 年 RC	Subject Area / Class 教科 / 科目	国語科 国語総合現代文	Class hours 時間数	3時間 / 週
---	--------------	--	----------------	---------------------------	---------

1学期 中間試験 Term 1 Midterm

Name of Unit, Project 単元名	認知の可能性と限界	Textbooks / Materials 使用教科書 / 教材	中島敦『文字禍』
-------------------------------------	-----------	--	----------

Unit Description 単元の概要	世界との関係における言葉の特質を理解し、それに対する自己の意見を構築し、他者と議論することにより、互いの考えを共有する。映画・俳句などの創造物も考察したうえで、認知の限界を探求していく。
----------------------------------	---

Class Standards 評価規準			Learning Objectives 学習内容			
楽	A3 整理した内容（情報）を、相手の立場や考えを尊重しながら、話し方に注意して、わかりやすく説明できる。	B3 把握した内容に関して、自ら疑問を持ち、問題提起することができる。	C3 本質をつかむ洞察力を身につけ、自己変革し続け、他者との共生のなかで新たに価値を創発するための行動をとることができる。	A3 ・課題文の読解 ・課題文の要約	B3 ・ワンマンプレスト ・グループダイアログ	C3 ・グループダイアログ ・グループプレゼンテーション
好	A2 段落・場面ごとに内容を読み取り、5W1Hを意識して整理する。	B2 一つ一つの言葉に注目しながら心情を理解し、作品の主題を解釈する。	C2 他者との対話を通して、現代と未来に向けた意思を表現することができる。	A2 ・課題文の読解 ・課題文の要約	B2 ・課題文の相互比較および検討 ・視聴覚教材の使用 ・グループダイアログ	C2 ・グループダイアログ
知	A1 言語活動に必要な漢字・語彙を身につける。	B1 事物の歴史的背景を知り、視点、語りの構造、修辞法などの道具立てを理解する。	C1 問題提起のあり方を理解する。	A1 ・課題文の読解	B1 ・課題文の読解	C1 ・グループダイアログ
	Recognition	Logical Thinking	Creative Thinking			

Others 備考	<p><評価方法> 定期考査の素点（60%）、グループダイアログ・プレゼンテーション（20%）、小テスト（10%）、提出物および授業態度（10%）</p> <p><ICT> 視聴覚教材の利用、授業内での解説にプロジェクターを使用</p>
------------------	--

MITA International School Syllabus 2018
三田国際学園高等学校 平成30年度 シラバス

Grade Level / Course 学年 / コース	高校 1 年 RC	Subject Area / Class 教科 / 科目	国語科 国語総合現代文	Class hours 時間数	3時間 / 週
---	--------------	--	----------------	---------------------------	---------

1学期 期末試験 Term 1 Final

Name of Unit, Project 単元名	倫理の可能性と限界	Textbooks / Materials 使用教科書 / 教材	芥川龍之介『羅生門』
Unit Description 単元の概要	「主人公」の心情に対する自己の意見を構築するとともに、他者と議論することにより、互いの考えを共有することができる。倫理についての自己の意見を構築するとともに、他者と議論することにより、互いの考えを共有することができる。映画・俳句などの創造物も考察したうえで、倫理の限界を探究していく。		

Class Standards 評価規準

楽	A3	B3 把握した内容に関して、自ら疑問を持ち、問題提起することができる。	C3 自己の内面に既存する論理を変革し、内的世界（世界観・人間観など）を深めることができる。
好	A2 段落・場面ごとに内容を読み取り、5W1Hを意識して整理する。	B2 一つ一つの言葉に注目しながら心情を理解し、作品の主題を解釈する。	C2
知	A1 言語活動に必要な漢字・語彙を身につける。	B1 事物の歴史的背景を知り、視点、語りの構造、修辞法などの道具立てを理解する。	C1
	Recognition	Logical Thinking	Creative Thinking

Learning Objectives 学習内容

A3	B3 ・ワンマンプレスト ・グループダイアログ	C3 ・グループプレゼンテーション
A2 ・課題文の読解 ・課題文の要約	B2 ・課題文の相互比較および検討 ・視聴覚教材の使用 ・グループダイアログ	C2
A1 ・課題文の読解	B1 ・課題文の読解 ・文学史における芥川龍之介の立ち位置の分析 ・芥川のお他作品との比較	C1

Others 備考	<評価方法> 定期考査の素点（60%）、グループダイアログ・プレゼンテーション（20%）、小テスト（10%）、提出物および授業態度（10%） <ICT> 視聴覚教材の利用、授業内での解説にプロジェクターを使用
---------------------	---

MITA International School Syllabus 2018
三田国際学園高等学校 平成30年度 シラバス

Grade Level / Course 学年 / コース	高校 1 年 RC	Subject Area / Class 教科 / 科目	国語科 国語総合現代文	Class hours 時間数	3時間 / 週
---	--------------	--	----------------	---------------------------	---------

2 学期 中間試験 Term 2 Midterm

Name of Unit, Project 単元名	主体の可能性と限界	Textbooks / Materials 使用教科書 / 教材	夏目漱石『門』
-------------------------------------	-----------	--	---------

Unit Description 単元の概要	「主人公」の心情に対する自己の意見を構築し、他者と議論することにより、互いの考えを共有することができる。主体についての意見を構築し、他者と議論することにより、互いの考えを共有することができる。映画・俳句などの創造物も考察したうえで、主体の限界を探究していく。
----------------------------------	---

Class Standards 評価規準	Learning Objectives 学習内容																									
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 5%; text-align: center;">楽</td> <td style="width: 15%;">A3</td> <td style="width: 15%;">B3 コンテキストに注目してテキストを読み直し、自分の考えをまとめることができる。</td> <td style="width: 15%;">C3 自己の内面に既存する論理を変革し、内的世界（世界観・人間観など）を深めることができる。</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">好</td> <td>A2 段落・場面ごとに内容を読み取り、5W1Hを意識して整理する。</td> <td>B2 思考コードを活用する力を身につけ、文章を構造的に読むことができる。</td> <td>C2</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">知</td> <td>A1 文章の段落・場面について理解する。</td> <td>B1 分析と総合、具体と抽象、比較、因果、理由と根拠、推論などの思考コードを理解する。</td> <td>C1</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">Recognition</td> <td style="text-align: center;">Logical Thinking</td> <td style="text-align: center;">Creative Thinking</td> </tr> </table>	楽	A3	B3 コンテキストに注目してテキストを読み直し、自分の考えをまとめることができる。	C3 自己の内面に既存する論理を変革し、内的世界（世界観・人間観など）を深めることができる。	好	A2 段落・場面ごとに内容を読み取り、5W1Hを意識して整理する。	B2 思考コードを活用する力を身につけ、文章を構造的に読むことができる。	C2	知	A1 文章の段落・場面について理解する。	B1 分析と総合、具体と抽象、比較、因果、理由と根拠、推論などの思考コードを理解する。	C1		Recognition	Logical Thinking	Creative Thinking	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%;">A3</td> <td style="width: 15%;">B3 ・ワンマンプレスト ・グループダイアログ</td> <td style="width: 15%;">C3 ・グループプレゼンテーション</td> </tr> <tr> <td>A2 ・課題文の読解 ・課題文の要約</td> <td>B2 ・課題文の相互比較および検討 ・視聴覚教材の使用 ・グループダイアログ</td> <td>C2</td> </tr> <tr> <td>A1 ・課題文の読解</td> <td>B1 ・課題文の読解</td> <td>C1</td> </tr> </table>	A3	B3 ・ワンマンプレスト ・グループダイアログ	C3 ・グループプレゼンテーション	A2 ・課題文の読解 ・課題文の要約	B2 ・課題文の相互比較および検討 ・視聴覚教材の使用 ・グループダイアログ	C2	A1 ・課題文の読解	B1 ・課題文の読解	C1
楽	A3	B3 コンテキストに注目してテキストを読み直し、自分の考えをまとめることができる。	C3 自己の内面に既存する論理を変革し、内的世界（世界観・人間観など）を深めることができる。																							
好	A2 段落・場面ごとに内容を読み取り、5W1Hを意識して整理する。	B2 思考コードを活用する力を身につけ、文章を構造的に読むことができる。	C2																							
知	A1 文章の段落・場面について理解する。	B1 分析と総合、具体と抽象、比較、因果、理由と根拠、推論などの思考コードを理解する。	C1																							
	Recognition	Logical Thinking	Creative Thinking																							
A3	B3 ・ワンマンプレスト ・グループダイアログ	C3 ・グループプレゼンテーション																								
A2 ・課題文の読解 ・課題文の要約	B2 ・課題文の相互比較および検討 ・視聴覚教材の使用 ・グループダイアログ	C2																								
A1 ・課題文の読解	B1 ・課題文の読解	C1																								

Others 備考	<p><評価方法> 定期考査の素点（60%）、グループダイアログ・プレゼンテーション（20%）、小テスト（10%）、提出物および授業態度（10%）</p> <p><ICT> 視聴覚教材の利用、授業内での解説にプロジェクターを使用</p>
---------------------	--

MITA International School Syllabus 2018

三田国際学園高等学校 平成30年度 シラバス

Grade Level / Course 学年 / コース	高校 1 年 RC	Subject Area / Class 教科 / 科目	国語科 国語総合現代文	Class hours 時間数	3時間 / 週
----------------------------------	--------------	---------------------------------	----------------	--------------------	---------

2 学期 期末試験 Term 2 Final

Name of Unit, Project 単元名	科学技術の可能性と限界	Textbooks / Materials 使用教科書 / 教材	黒崎政男『ネットとリアルのあいだ』
------------------------------	-------------	-------------------------------------	-------------------

Unit Description 単元の概要	21 世紀型情報 社会をとらえ、そのあるべき姿について自己の意見を構築し、他者と議論することにより、科学技術の可能性と限界について互いの考えを共有 することができる。映画・俳句などの創造物も考察したうえで、科学技術の限界を探求していく。
---------------------------	--

Class Standards 評価規準

楽	A3 整理した内容（情報）を、相手の立場や考えを尊重しながら、話し方に注意して、わかりやすく説明できる。	B3 把握した内容に関して、自ら疑問を持ち、問題提起することができる。	C3 本質をつかむ洞察力を身につけ、自己変革し続け、他者との共生のなかで新たに価値を創発するための行動をとることができる。
好	A2 段落・場面ごとに内容を読み取り、5W1Hを意識して整理する。	B2 思考コードを活用する力を身につけ、文章を構造的に読むことができる。	C2 他者との対話を通して、現代と未来に向けた意思を表現することができる。
知	A1 言語活動に必要な漢字・語彙を身につける。	B1 事物の歴史的背景を知り、視点、語りの構造、修辞法などの道具立てを理解する。	C1 問題提起のあり方を理解する。
	Recognition	Logical Thinking	Creative Thinking

Learning Objectives 学習内容

A3 ・課題文の読解 ・課題文の要約	B3 ・ワンマンプレスト ・グループダイアログ	C3 ・グループダイアログ ・グループプレゼンテーション
A2 ・課題文の読解 ・課題文の要約	B2 ・課題文の相互比較および検討 ・視聴覚教材の使用 ・グループダイアログ	C2 ・グループダイアログ
A1 ・課題文の読解	B1 ・課題文の読解	C1 ・グループダイアログ

Others 備考	<評価方法> 定期考査の素点（60%）、グループダイアログ・プレゼンテーション（20%）、小テスト（10%）、提出物および授業態度（10%） <ICT> 視聴覚教材の利用、授業内での解説にプロジェクターを使用
--------------	---

MITA International School Syllabus 2018
三田国際学園高等学校 平成30年度 シラバス

Grade Level / Course 学年 / コース	高校 1 年 RC	Subject Area / Class 教科 / 科目	国語科 国語総合現代文	Class hours 時間数	3時間 / 週
---	--------------	--	----------------	---------------------------	---------

3 学期 学年末試験 Term 3 Final

Name of Unit, Project 単元名	芸術の可能性と限界	Textbooks / Materials 使用教科書 / 教材	志賀直哉『城の崎にて』
Unit Description 単元の概要	人間の特質を理解し、それに対する生死についての意見を構築し、他者と議論することにより、互いの考えを共有する。映画・俳句などの創造物も考察したうえで、芸術の限界を探求していく。		

Class Standards 評価規準	Learning Objectives 学習内容																									
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 5%; text-align: center;">楽</td> <td style="width: 25%;">A3 整理した内容（情報）を、相手の立場や考えを尊重しながら、話し方に注意して、わかりやすく説明できる。</td> <td style="width: 25%;">B3 把握した内容に関して、自ら疑問を持ち、問題提起することができる。</td> <td style="width: 25%;">C3 本質をつかむ洞察力を身につけ、自己変革し続け、他者との共生のなかで新たに価値を創発するための行動をとることができる。</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">好</td> <td>A2 段落・場面ごとに内容を読み取り、5W1Hを意識して整理する。</td> <td>B2 思考コードを活用する力を身につけ、文章を構造的に読むことができる。</td> <td>C2 作品世界の広がりや、自己の内面の広がりとして捉え、自分の解釈・考えを再構築することができる。</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">知</td> <td>A1 言語活動に必要な漢字・語彙を身につける。</td> <td>B1 事物の歴史的背景を知り、視点、語りの構造、修辞法などの道具立てを理解する。</td> <td>C1 問題提起のあり方を理解する。</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">Recognition</td> <td style="text-align: center;">Logical Thinking</td> <td style="text-align: center;">Creative Thinking</td> </tr> </table>	楽	A3 整理した内容（情報）を、相手の立場や考えを尊重しながら、話し方に注意して、わかりやすく説明できる。	B3 把握した内容に関して、自ら疑問を持ち、問題提起することができる。	C3 本質をつかむ洞察力を身につけ、自己変革し続け、他者との共生のなかで新たに価値を創発するための行動をとることができる。	好	A2 段落・場面ごとに内容を読み取り、5W1Hを意識して整理する。	B2 思考コードを活用する力を身につけ、文章を構造的に読むことができる。	C2 作品世界の広がりや、自己の内面の広がりとして捉え、自分の解釈・考えを再構築することができる。	知	A1 言語活動に必要な漢字・語彙を身につける。	B1 事物の歴史的背景を知り、視点、語りの構造、修辞法などの道具立てを理解する。	C1 問題提起のあり方を理解する。		Recognition	Logical Thinking	Creative Thinking	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 25%;">A3 ・課題文の読解 ・課題文の要約</td> <td style="width: 25%;">B3 ・ワンマンブレスト ・グループダイアログ</td> <td style="width: 25%;">C3 ・グループダイアログ ・グループプレゼンテーション</td> </tr> <tr> <td>A2 ・課題文の読解 ・課題文の要約</td> <td>B2 ・課題文の相互比較および検討 ・視聴覚教材の使用 ・グループダイアログ</td> <td>C2 ・グループダイアログ</td> </tr> <tr> <td>A1 ・課題文の読解</td> <td>B1 ・課題文の読解</td> <td>C1 ・グループダイアログ</td> </tr> </table>	A3 ・課題文の読解 ・課題文の要約	B3 ・ワンマンブレスト ・グループダイアログ	C3 ・グループダイアログ ・グループプレゼンテーション	A2 ・課題文の読解 ・課題文の要約	B2 ・課題文の相互比較および検討 ・視聴覚教材の使用 ・グループダイアログ	C2 ・グループダイアログ	A1 ・課題文の読解	B1 ・課題文の読解	C1 ・グループダイアログ
楽	A3 整理した内容（情報）を、相手の立場や考えを尊重しながら、話し方に注意して、わかりやすく説明できる。	B3 把握した内容に関して、自ら疑問を持ち、問題提起することができる。	C3 本質をつかむ洞察力を身につけ、自己変革し続け、他者との共生のなかで新たに価値を創発するための行動をとることができる。																							
好	A2 段落・場面ごとに内容を読み取り、5W1Hを意識して整理する。	B2 思考コードを活用する力を身につけ、文章を構造的に読むことができる。	C2 作品世界の広がりや、自己の内面の広がりとして捉え、自分の解釈・考えを再構築することができる。																							
知	A1 言語活動に必要な漢字・語彙を身につける。	B1 事物の歴史的背景を知り、視点、語りの構造、修辞法などの道具立てを理解する。	C1 問題提起のあり方を理解する。																							
	Recognition	Logical Thinking	Creative Thinking																							
A3 ・課題文の読解 ・課題文の要約	B3 ・ワンマンブレスト ・グループダイアログ	C3 ・グループダイアログ ・グループプレゼンテーション																								
A2 ・課題文の読解 ・課題文の要約	B2 ・課題文の相互比較および検討 ・視聴覚教材の使用 ・グループダイアログ	C2 ・グループダイアログ																								
A1 ・課題文の読解	B1 ・課題文の読解	C1 ・グループダイアログ																								

Others 備考	<評価方法> 定期考査の素点（60%）、グループダイアログ・プレゼンテーション（20%）、小テスト（10%）、提出物および授業態度（10%） <ICT> 視聴覚教材の利用、授業内での解説にプロジェクターを使用
---------------------	---